

基本施策評価シート

基本施策最終評価
A

基本施策通し番号 2
 基本施策 豊かな心を育てる文化力の育成
 構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	文化的遺産の保存と活用	A
施策2	文化芸術の振興	A
施策3	文化施設の整備と充実	B

成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和元年度末 実績	単位	令和元年度の成果の検証
指定等文化財件数	国指定、国登録、県指定、市指定の文化財件数	141	142	件	文化財管理者と連絡を密にして減損および散逸の防止に取り組むとともに、管理に要する負担の軽減を図ることで、文化財の後世への継承に取り組んだ。 未指定文化財をおおの遺産として認証することで、状態・状況に応じた保護体制を整えている。
公演などの開催回数	市が支援する音楽会や演劇などの文化公演の年間実施回数	16	6	回	映画、落語、音楽、演劇、工芸など様々な分野の文化に触れる機会を創出できた。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的、文化的遺産が市内各地域で大切に保存され、新たに観光資源として注目されはじめている。 ・人々に元気を与え魅力ある社会づくりを推進する「文化力」が重要視されており、市では、教育理念を掲げ、文化の分野においても豊かな心を持つ大野人の育成に努めている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の変化や、人口減少による後継者不足により、文化的建造物の保存や伝統芸能等の継承が危ぶまれており、後世に伝えていくための支援が必要である。 ・優れた文化芸術を鑑賞したり、市民自ら発表する場を創出するためには、文化施設の整備や文化芸術に触れる機会の充実が必要である。

社会情勢・市民ニーズの変化

- ・市民の中で、文化財や伝統文化を地域の魅力として活用しようとする動きが活発化している。
- ・国の施策により、文化財の活用が求められている。
- ・文化芸術の様々な分野に関心を持っており、文化施設の整備や文化事業の充実を求める声も多い。

現在の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存継承の担い手となるべき人材の市外での就労や、地域外(市内他地域や市外)への転出が増えている。 ・文化公演において、市主催事業で映画上映会等の実施や市民が行う音楽会等への支援と通して、人材の育成等の文化振興を図っている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物や美術工芸品などの修繕費や維持管理経費の負担が大きいこと、伝統芸能の後継者がいないことなど、文化財の保存や継承が危ぶまれる。 ・文化財の「保存継承」と「観光活用」を両立させる方法を模索中。 ・文化振興において、市民主体の活動をどのように盛り上げ、啓発していく方策を検討する必要がある。

基本施策の「成果」

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の良好な保存を図るため、修理等に係る事業に対する補助金交付要綱を制定した。 ・無形民俗文化財の良好な保存を図るため、保存育成又は公開に係る事業に対する補助金交付要綱を制定した。 ・唯野南専寺山門(県指定文化財)の保存修理に対して指導し、文化財の適正な保存を図った。 ・宝慶寺が管理する指定文化財を永平寺に移動する際に、市指定文化財所在場所変更届を提出するよう指導した。 ・COCONOアートプレイスにおいては、年4回の企画展を開催したとともに、作品の展示だけでなく、ギャラリートークや出展作家によるワークショップ、本施設の設計士による講演会など、参加型の取組を実施し、文化芸術の交流拠点として、多くの市民の参加があった。 また、本施設の建物が第51回中部建築賞、ウッドデザイン賞2019を受賞し、全国に広くPRすることができた。 ・文化事業補助金要綱において、申請手続きの簡素化や多くの文化活動団体が活用できるよう所要の改正を行った。
-----	---

改善点

- ・若年層の地域離れが加速する中、保存継承を図る必要があるため、専門家の招聘や先行研究の活用などにより文化財の指定を早急かつ適切に行う。
- ・文化財の指定が管理者の負担にならないよう行政としての支援が求められることから、市として真に必要なかどうかの見極めを十分に検討しながら指定を行う。
- ・文化財としての価値が損なわれないよう、関係者の意識を高める。
- ・COCONOアートプレイスの観覧者増加を図るため、県主催文化事業や商店街との連携強化に取り組む。